

広報 なかわだ

第 404号

10月の予定

教会委員会 10月13日(日)
信徒の会 例会 10月19日(土)
子どもと共に捧げるミサ 10月27日(日)
バザー 10月27日(日)



2013年10月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

2013年10月6日

St Luke Displaying a Painting of the Virgin (Guercino, 1653)

聖ルカ 福音書記者

主任司祭 小林 陽一

聖ルカは、貧しい暮らしに耐えている人、人生の重荷に苦しんでいる人、罪を悔い、神の赦しと愛を求めている人に、イエスの愛を伝えようとしてルカ福音書を書いたと思われます。「宴会をする時は、貧しい人、体の不自由な人、足の不自由な人、目の見えない人を招きなさい。そうすればあなたは幸いである。その人たちはお返しができないから、正しい人が復活する時、あなたは報いをうけるであろう。」(ルカ福音書14章13～14) 貧しい人たちは宴会に招かれても、お返しができない人たちである。招いたあなたへの報いは世の終わりに与えられる。ルカは貧しい人たちの思っているように書いたと思われます。

聖ルカは、1世紀に、シリアのアンティオキアでギリシャ人の比較的豊かな家庭に生まれ、文学、科学を広く学び、医者として身を立てました。ルカは聖パウロに深い尊敬と親愛の情をいだき、キリストの教えは万人を救うためのものであり、これを出来るだけ多くの人に広めようというルカの思いと聖パウロも同じ思いを抱いているところから、ルカとパウロは意気投合していたと思われます。

紀元後50年頃のパウロの第2回目の伝道旅行の際、ルカはパウロに従ってトロアデからエーゲ海を渡り、ギリシャのフィリピまで一緒に旅をしました。ルカは恩師パウロが教会宛の手紙を書いているのを見、それが信者たちの間で大きな反響を呼び起こすことを知って、文筆による宣教活動がいかに効果のあるものであるかを知りました。そこで、ルカは、キリストの生涯、教え、奇跡などを正確に伝え、これを広めようと、ルカ福音書の編集に取り掛かりました。

ルカ福音書は読みやすく、たとえ話など、想像しやすい書き方で、多くの人に親しまれていると思われます。

恩師聖パウロは紀元後67年、ローマで殉教しました。ルカは聖パウロの死後、ギリシャに赴き、アカイヤで宣教し、さらに小アジアにて伝道し、84歳で神に召されました。世界中で現在も医師の恩人として仰がれております。



典
礼
こ
よ
み
(
十
月
)

日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
4	金	アシジの聖フランシスコ	祝日ミサ(10時) 初金	掃除
5	土		主日ミサ(18時)	
6	日	年間第27主日	主日ミサ(9時)	ロザリオの祈り(8:30)
12	土		祝日ミサ(18時)	掃除
13	日	年間第28主日	主日ミサ(9時)	ロザリオの祈り(8:30)
18	金	聖ルカ	祝日ミサ(10時)	
19	土			掃除
20	日	年間第29主日	主日ミサ(9時)	ロザリオ(8:30) 聖堂清掃
26	土		主日ミサ(15時)	掃除 バザー準備(10:00-)
27	日	年間第30主日	子どもと共に捧げるミサ(9時)	バザー(11:00-13:00)

敬老祝福ミサと祝賀会開催！（9月15日） いつまでもお健やかに過ごしてください



サマーキャンプ（8月23日～28日）山中湖星美ホームにて



タム神父様の「お祈り」のお話を聞いた後、1、2年生はそれぞれ考えたお祈りを書いて祈りの木を作成しました。
「かみさま、だいじなおいのりをまいにち1回ずつやっています。きっとかみさまにとどいているとおもいます。（大宮 陸洋）」



信徒の会から（ナザレト大川さんの講演会）

9月22日の日曜日、信徒の会の行事の一環として大川さんをお招きし、お話しを伺う会を催しました。大変お忙しいにもかかわらず、快くお引き受け頂いた大川さんに御礼申し上げます。当日は新集会室が一杯になるほど大勢の方が参加してくださり熱心にお話しを聴いて下さいました。お忙しい中お集まり頂いた皆様、そしてコーヒーやお茶など御協力下さいました大勢の方々に御礼申し上げます。

ご承知のように大川さんには中和田教会の聖堂のリニューアルを御担当頂き、木の良さを活かした明るい聖堂に仕上げて下さいました。当時既に400を越える教会や修道院の聖堂関係を担当されていましたが、今では500近くになっているとのことです。

お話しはマリア像を無性に彫りたくなり電柱を切って父親から厳しく叱られた話から始まり、カトリックの聖堂関係の制作に携わることになったまさに波瀾万丈の半生が紹介されました。また経験された数々の不思議な出来事についてもお話になりました。お住まいは川崎、仕事場は日吉、どうして教会は初台なのかと疑問に思っていました。その理由も分かりました。お話しを伺っていると大川さんの純粋さ、情熱、お人柄が伝わってきます。まさに時間の経つのも気づかぬほどお話しに引き込まれてしまいました。時間の制約で今回はご経験の一部のみ、まだ数多くのエピソードが残されているようですが、また機会があれば是非続編をお伺いしたいと思います。

大川さんは大きな工事でも全てお一人で実施されています。まず教会の聖堂に訪れ、その段階でこうしようというインスピレーションがわき、それに基づいた構想を図面にして、細部を相談しながら制作に入ります。毎回それぞれの教会にふさわしいものを追求されていますので、異なる制作になって大変なようですが、それが御本人の楽しみでもあり、やりがいになっているようです。全て御自分の手で制作され、車に積み込んで九州や北海道まで運転して、工事、据え付けも原則一人でやられています。お歳を感じさせないお元気で感服させられます。どうかますますお元気に制作を継続して行かれますよう心からお祈り申し上げます。

どうも有り難うございました。

（岩淵 英介）



夏季学校開催（7月28日）

バザー担当よりお知らせ

去る7月28日（日）、毎年恒例の夏季学校を開催いたしました。

まず、9：00～子どもと共に捧げるミサでは、いつものように、先唱や朗読などの仕事を、みんなで分担して行いました。（月に一度、子どもたちは、大勢を前にして緊張しながら、がんばっております。）

次に、お勉強タイムでは、二つのグループに分かれて、初聖体を受けた子どもたちは、イエス様についてのクイズ・ロザリオの使い方・歌の練習を、初聖体を受けていない子どもたちは、絵本（神様の国のたとえ話）の読み聞かせとお絵かきをしました。みんな、適度におやすみを入れつつ（?）、がんばりました。

小林神父様と一緒にのお昼ご飯を食べた後は、待ちに待った、お遊びタイム（笑）。外ではシャボン玉（はりきって、いっぱいふいて、液がなくなる子どもが続出しました）やかくれんぼを、室内では折り紙やトランプをして、楽しい一時を過ごしました。

その後、おやつを食べて、片付け・掃除をして、お御堂でろうそくを持ってお祈り・今日の振り返りをして、最後に、神父様のお話（水について）をお聞きして、今年の夏季学校は終わりました。（森脇 彰子）



- 第3回目打合せ
10月6日ミサ後に開催します
- 値段付け
10月15日（火）午前10時～終了まで行います
- バザー券と食券販売は、既に始まっています。
- バザー前日と当日のお手伝い表を貼り出してありますので、お名前をお書き下さい
- テント張りなど会場設営は、例年の通り前日（10/26）午前10時より行いますが、いつも人手不足で困っています。皆様のご協力をお願いします。

※ 今回から安全確保のために「移動ボンベ」が使えなくなり（ニチガス方針）、準備作業がやりづらい面があるかも知れませんが、ご理解をお願いします。（小野 和江）



～ 中 和 田 の 風 ～

マリア様に倣って － 祈りを込めて行動する －

六月中旬、三泊四日で東北ボランティアに参加した中島喜美子さんにお話を伺いました。

▲東北ボランティアに行こうと思ったきっかけは何ですか？

→今年五月J Rの旅行で東北に行き被災地の現状を見た時、たまたま道で会った現地の人から帰ったらこの悲惨な現状を是非伝えてほしいと言われ、ずっと機会があればボランティアに参加したいと思っていた。このボランティアに去年六月から参加されている横塚郁子さんに声をかけられた時には迷わず参加したいと思った。

▲参加されたボランティア活動のしくみと内容を教えてください。

→ NPO 法人カリタス釜石が行っているボランティア活動で拠点は釜石教会に置かれている。立ち上げた当初は避難している人たちに避難物資を手渡すなどの活動をしていたが、現在は教会近辺の人たちを対象とした交流の場「ふいりあ」の運営（喫茶、傾聴、手芸等）と仮設団地の人たちを対象とした社協主催の「お茶っこサロン」の活動を行っている。その他清掃作業などもある。

▲実際にボランティアに参加してみて、ご苦労と感想などをお聞かせください？

→ボランティア初日は夜行バスで到着した直後からの活動だったので疲労感が大きく何をすればよいか戸惑っていたが、参加者（被災者）の方から「話しましょう」と声をかけられ何気ないことから話が始まった。またある時は九州出身の私には東北地方の言葉が全く分からず困った場面もあったが釜石ご出身の横塚さんの助けて話ができた。その後は食べ物の話題などで打ち解けることができた。やはり交流というのは同じ立場にたって一緒に時間を過ごすことによって絆が深まるのだなと思った。

▲今後はどんな支援が必要だと思いますか？

→未だ仮設住宅での不自由な状況の中で暮らしている人たちの話を聞き、思いに寄り添い、伝えていくことは意義があることだと思う。先日当教会で開催された講演会でシスター片岡のお話しの中に「辛く苦しい思いをしている人たちのために祈ることは大切だが、自分の体や時間を使って少しでもその人たちのために何かしなければ祈りは届かない」と仰っておられたが常にそのように考え行動したいと思っている。又困難の中でも前向きに生きようとする人たちの話を聞くことは逆に私たちの方が学ぶこともある。又機会があれば行きたい。

典礼グループより

日々の典礼活動への皆様のご奉仕ありがとうございます。



「典礼」の基本は主日に行われるミサです。ミサも一年の典礼暦の中で季節により多種多様です。聖週間である聖なる過越の三日間を中心とする復活節と復活祭を準備する四旬節、キリストの来臨を待ち望む待降節と降誕と公現を記念する降誕節があります。それ以外にも入信式や叙階式、結婚式、葬儀などのミサもあります。その一つ一つのミサでいろいろな「行い」があります。その「行い」こそが「典礼」です。

行為を伴う神への奉仕が典礼奉仕と言えます。司祭に仕え、聖書を朗読し、賛歌を歌い、祈願を唱え、それを拝聴することも典礼奉仕です。一つ一つの奉仕があつてミサが成り立ちます。これは一人ひとりの神への働きでミサが成り立つということです。ミサに集い参加することも奉仕の一つですが、もう一歩前へ進んだ奉仕への参加をお願いしたいと思っています。

現在、先唱者は男性を中心に、侍者は小・中学生を中心に、準備の香部屋係りは女性を中心としています。従来からの枠にとらわれず、大人の女性の方が「私も先唱やってみよう」、大人の方が「私も侍者やってみよう」などの少しの勇気をもって踏み出していただけることを願っております。

今月10月はロザリオの月です。バザーの日(10/27)除く第一・第三日曜日8:30からロザリオの祈りを行います。一人でも多くの方が集いロザリオの祈りができるよう願っております。

(大宮智)

委員会だより

(文中敬称略)

△9月8日(日) 11名出席▽

■神父様の話

・小林神父不在日(鍵は上野委員長)
―黙想会(軽井沢) 10月21日〜25日
(連絡先 0267-45-5101)

・東京教会管区、司祭大会 10月28日
〜30日(連絡先 0246-43-3191)

・2014年堅信式申込み期限 10月末
対象者は中高生等4人ほど。堅信式協力者(代親、先輩など)グループを作り、対象者本人と気軽に話せる環境作りを要請したい。

■ホワイトボードスケジュール確認
追加―庭の手入れ 10月20日

■各グループからの報告

●財務(甲斐)

・防災対策臨時信徒大会の結果を踏まえ、まずは神父様の災害用品を揃え、その他については後日は是非を問う。

●典礼(大宮(智))

・敬老ミサ：昨年に準じて病者の塗油を行う。その間会衆は聖歌を歌う。
新対象者の自己紹介、委員長から記念品贈呈。

・ロザリオの祈りの実施：10月6日、13日、20日 8時半〜 3連唱える
・死者のミサ：11月3日(日)。その他の方々については去年に準じる。ただし信徒が同席しない場合は去年同様、追悼の祈りとなる。

●行事(中村)

・敬老会 新集會室にてお祝い
―お抹茶(磯田さん)・お菓子
子供たちと一緒に聖歌を歌う

・第2回バザー打ち合わせの報告
バザー券(100冊)、食券の販売は9月29日から開始
第3回バザー打ち合わせ10月6日ミサ後

●建物/営繕(福島)

・バザーで毎年使用している日ガスから変更を検討することになるかもしれない。

・神父様の台所のガスコンロ台替えを予定している。

●宣教(井上、石井)

・サマーキャンプ8月23日(金)〜25日
中和田から2名参加、タム神父様のお話「祈りについて」

●中高生会、日にち調整中

・泉区民クリスマス・合同礼拝とキャロリング/12月21日(土)宮ノ台幼稚園
施設訪問12月15日(日)恒春の郷(弥生台)

・聖歌隊の第1回練習日、9月15日15:00〜 中和田教会にて

●福祉(中島)

・バザーで去年同様「さんが岩手」の手作り雑巾を販売するコーナーを設けてほしい。

・売上全額は寄付する↓バザー委員でコーナーの設置場所を検討する。
・例年のバザー売上金の寄付先は福祉の意見を取り入れて委員会で見討してほしい。

・バザー時の女子パウロ会の図書等販売は中止。代わりに11月3日第1日曜に販売予定。

●要理(本庄)

・夏季学校 7月28日 子供14名、大人8名が参加した。

・サマーキャンプ2名参加、交通費補助に感謝しているとのこと

・堅信対象者の親は早め(小学生のうち)に受けられたらと思うっている。対象者3名

・9月は運動会シーズンで子供ミサはお休み。代わりに8月に子供ミサを実施してほしい。
↓典礼Gで検討する。

●総務(岩淵)

・掲示板や台の上の掲示物には掲示を開始した日付を記入してほしい

●広報(今井)

・今後は各委員会のお知らせ、活動内容などを広く信徒の方に知って頂くために広報を活用して頂きたい。原稿を募集しますのでご協力をお願いします。

●信徒の会(岩淵)

・ガーデンパーティーの報告
来年からは財務の意向を受けて会費制とするが教会以外の人からも徴収するかが課題。

■討議・報告事項(上野)

・2014年の堅信式について
予定対象者、要理3名、中高生4名
↓2014年は堅信式を行うこととする。

・次回は2011年の経験を元に宣教G井上さんからお話(堅信を受けた対象者の感想なども含め)を聞き、神父様からご提案のあった堅信式協力者グループをどうするか等を検討していく。 以上

次回委員会

10月13日(日)

